

令和3年度 事業報告書

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティブ・トウキョウ

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

①「アーティストの東京滞在宿舎の提供及び生活支援サービス」事業

コロナ禍による海外渡航制限のため、国外からのアーティストの招聘を停止した。同時に、気候変動が国際課題となる中、改めて創作活動における「移動」について考え「アーティスト・イン・レジデンス」という枠組みを、独自に再解釈する必要性を認識している。また、少数ではあるが、国内のレジデンス施設では外務省や文化庁との連携によってビザを取得して招聘したケースも見られ、こうした活動を行う団体とビザ取得や渡航に関する情報共有を継続的にやり、意見交換を続けている。

またオンラインの交換レジデンスプログラムの成果を共有するウェブサイトも、前年度からの継続により構築中。コンテンツには国内外から参加を呼びかけ、パンデミック中アーティストがどの様に生活しているかについてのアンケートを掲載予定である。

②「海外におけるアーティストインレジデンス施設に関する情報収集、提供」事業

気候危機とアートに対するリサーチとアクションを考える芸術関係者による任意団体「Gallery Climate Coalition(GCC)」(ロンドン)について情報収集を行った。GCCとは今後のアーティスト・イン・レジデンスプログラムで協働する予定のほか、今後も、世界のアーティストインレジデンスについての情報交換を継続して行う。今年度は、アート業界と気候危機の問題について、GCCに加盟するロンドンのギャラリストにヒアリングした内容をAITのウェブサイトで発信し、気候危機とアートに関する最前線の情報を提供した。

③「国内アーティストの海外施設への入所支援」事業

海外渡航制限は続いているが、本年度はアーティスト1名を海外に派遣することができた。「日産アートアワード2020」のグランプリ受賞者が、中国、武漢の「K11アート・ファンデーション」によるアーティスト・イン・レジデンスプログラムに約1ヶ月半滞在した。現地では、隔離期間中のホテル滞在時間に作品制作を行ったり、中国古来の演劇のリサーチや現地のアーティストと交流した。帰国後はオンラインで報告会を行い、20名以上が参加した。

13回目を迎えたバックカース・ファンデーションとのレジデンスプログラムでは、本年度も海外派遣を見合わせ、2名のアーティストの国内での制作活動の支援をした。支援内容としては、詳細なモチーフのリサーチを可能とする光学電子顕微鏡を購入したり、メンバーとの物品のやりとりを通じたプロセスを交えた新たな作品を生み出す活動をサポートした。また新たな試みとして、都内ギャラリーのディレクターとアーティストが、これまでの活動や今後の目標を作品をもとに話し合う「メンタリング」の機会を設けた。参考書籍やアーティストとしてのキャリアなど、幅広い話題に触れる有意義な時間であったとアーティストからコメントがあった。コロナ禍では、オンラインで交流や作品プレゼンテーションをする形になることが多いが、バックカース・ファンデーションのレジデンスでは、そういった発表の機会にこだわらず、国内在住のアーティストの今のニーズを的確に捉えた支援をすることができた。

④「現代美術の展覧会、ワークショップの実施及びその支援」事業

本年度も、東京都が主催し中堅アーティストのさらなる活動を支援する「Tokyo Contemporary Art Award(TCAA)」の選考会運営事務局やシンポジウム企画、マネックスグループ株式会社主催の公募プログラム「ART IN THE OFFICE」等、自治体、企業との協働プログラムを行った。

TCAAのアーティストのスタジオ訪問では、カメラを複数台使用したリアルタイム配信を取り入れ、オンライン参加の海外選考委員も現場の雰囲気や掴みやすい工夫をした。作家のプレゼンテーションや通訳、現場の事前準備を入念に行ったことから、東京や京都、名古屋のスタジオ訪問ではより深い対話が生まれた。最終選考会を経て2名の作家を選出した。

三井不動産レジデンシャルが手がける都内の新築マンションに、テーマに沿った現代アート作品をAITが選定、設置する事業を行った。芸術家による新作のコミッション作品では、住民に写真や彫刻作品を通じてその場所の物語や自然と人とのつながりを想像する機会を創出した。

三菱商事株式会社の「三菱商事アート・ゲート・プログラム」では、アドバイザーとして、学生への資金支援のほか、若手アーティストの学びの機会や制作活動の発展をサポートするプログラムを実施した。コロナ禍により、選出・審査・支援アーティストの発表・ラーニング・メンタリング・中間活動報告など、コンテンツの一部をオンライン開催とせざるを得なかったが、学びや体験を取り入れた本事業の特色を最大限に引き出しながら運営の工夫を行った。また、ウェブサイトでは支援アーティスト9名(組)の変化に着目し、インタビューテキストやトーク映像を盛り込み、内容の充実化と外部への波及に努めた。

メルセデス・ベンツ日本株式会社の「メルセデス・ベンツアート・スコープ」では、長年パートナーであった原美術館(東京)の閉館に伴い、原美術館との17年間の歴史をまとめたカタログを制作した。これまでの展示記録に加え、レジデンスプログラムに参加したドイツと日本の作家によるインタビューを掲載し、企業やアート関係者に配布した。

新生銀行との教育プログラムでは、新たに社員向けのオンライン鑑賞ワークショップを複数回実施した。芸術作品から気候危機

や社会課題を考える目的で、より深く作品を観察し、想像力を鍛えるセッションとミニレクチャーを開講。参加者それぞれの視点を共有したほか、絵画の背景にある歴史や環境について気づきかけ作りをした。また、子どもと若者向けに、アーティストによる小学生向けの科学と生活をテーマにしたワークショップを新生銀行の寄付講座として行い、社員の家族と、経済的に困難な家庭支援団体から招待した子供や、自閉症の特性を持つ若者、科学に関心のある子供が参加した。

角川ドワンゴが運営するネットの高校「N高/S高」において、アートの歴史や、展覧会をつくる仕事についてのオンラインレクチャーおよび対話型鑑賞ワークショップを行った。レクチャー後には、架空の展覧会をつくるブレインストームを行い、学生たちは自由な発想でそれぞれの考えを共有した。不登校や子供の自殺が社会問題となっている今、選択肢としてのオンライン通学や受講スタイルがあり、そうした学生と直接触れ合い、声を聴く経験は貴重なことで、参画できたことはAITの学びに繋がった。

⑤「現代美術に関する公開講座の実施」事業

前年度のトライアルを経て、これまで20年に亘り開講してきたMADの軌跡を活かした新たな教育プログラム「Total Arts Studies (TAS)」を本格始動した。オンライン講座シリーズ「TASプレミア」では、気候危機や社会課題など不確かな未来を、芸術家の実践や芸術の考えを通して想像し、ケアや適応、子供と教育等について考察するコースを開講。あらかじめ撮影・録画したレクチャーをテーマごとにセットで提供し、学びを深めるコンテンツを配信した。withコロナによる生活の変化や現代社会に合わせ、より人々のニーズに沿った形の学びを探ったTASプレミアは、今年度の特筆すべき教育事業の一つであったと言える。

都内のギャラリーや主要美術館を複数のルートで結び、期間限定で巡回するアートバスの運行や関連イベントを行う「アートウィーク東京2021」に、教育プログラムの企画協力として参加した。日本のアートの歴史や芸術家の活動についてキュレーターやギャラリストなどのゲストによるトークをオンラインで開催した。合計4本の動画コンテンツの制作・進行管理に携わり、後日、AWTウェブサイトでも広く発信された。

キリン福祉財団の助成と、株式会社資生堂から社員の寄付を受け、子供や若者と芸術家をつなぐ「dear Me」に関連した講座とワークショップを複数回実施。都内の児童福祉施設の子供との芸術家の絵本を用いたオンラインワークショップと、想像の展覧会をつくる対話を行い、後日、子供の発案から、施設につながりのある地域のコミュニティスペースの協力を得て実際の展示に発展した。また、環境の中にある音をテーマに活動する芸術家をゲストに、さまざまな国にルーツを持つ子供たちとの実地のワークショップを行った。音響機材のROLANDの協力により、ひとり一台の機材を手に環境音を収集することができ、言葉ではないコミュニケーションを通じて、立体的に音を感じる体験を共有した。外国ルーツの児童を対象とした活動は初の試みであり、やさしい日本語での進行など、AITとしても新たな学びの機会となった。

⑥「現代美術に関する機関誌発行、インターネット上でのホームページ開設、情報提供」事業

新規に「TASプレミア」特設サイトを制作し、受講者のタイミングに合わせてオンデマンドで配信する仕組みを導入した。AITウェブサイトと連動させながら、講座のサンプルレクチャー、今年度のトークイベント等を外部の動画配信サービスを使い、アーカイブを広く公開した。そのほか、気候危機とアートに関する海外の美術関係者へのインタビューや気候危機とアートにまつわる海外の主な活動の年表をまとめ、ウェブサイトに公開した。特に、英語での情報を日本語で紹介することで、気候危機とアートに関連した世界の動向をわかりやすく伝えた。

⑦「美術と医療福祉に関する調査研究、アーカイブ化推進、情報提供」

企業や助成金での子供向けプログラムによる、心や行動の変化など見えにくい効果を測定するためのひとつの方法として、ルーブリック表を用いたアンケートでオリジナルの指標作りを目指し、医療社会学の専門家の意見を聞きながら構築した。ヒアリングや意見交換を通じて専門家の知見を取り入れ、子供や若者とアートの、メンタルヘルスの検証の素地をつくることができた。児童の特性や内容によって工夫が必要なため、今後も継続して検証していくことが求められる。

(2) その他の事業

②「飲食提供業、物品販売業」事業

「dear Me」の一環で製作したアーティストグッズを、関連するイギリス人作家の展覧会と来日に合わせ、都内のアートスペースにて委託販売を行った。また、出版事業開始に向け、販売方法のリサーチや準備を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 67,200】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
①アーティストの東京滞在宿舎の提供及び生活支援サービス	ウェブサイト構築	2021年5月～ 2022年4月	オンライン	2名	国内外在住アーティスト	10名程度	38

②海外におけるアーティストレジデンス施設に関する情報収集、提供	気候危機とアートの研究団体GCCの リサーチ、協働への情報収集	2021年5 月～ 2022年4 月	オンライン	2名	国内アー ティスト他	広くアー ティスト 全員	0
③国内アーティストの 海外施設への入 所支援	日産アートアワード受賞者1名 リサーチ、トーク バックアーズファンデーション	2021年1 月-3月 2021年5 月～ 2022年4 月	中国、武漢 オンライン	2名	国内 アー ティ スト	33名	2,170
④現代美術の展 覧会、ワークショップの 実施及びその支 援	「アート・イン・ザ・オフィス」運営協力 (主催: マネックスグループ株式会社) - 選考会実施 - ワークショップ企画実施 - トークイベントの実施 - 内覧ツアー協力	2021年5 月-2022 年4月	マネックスグ ループ(株) (港区) オンライン	3名	国内アー ティスト、 社員、およ び広く一 般	50名	31,827
	東京コンテンポラリーアートアワード 選考会運営事務局 (主催: 東京都、トキョーアート・スペース) - アワード実施計画策定 - スタジオ訪問手配、記録 - 選考会の実施 - シンポジウム企画	2021年5 月-2022 年4月	東京都現代美 術館(江東 区)、作家スタ ジオ(京都、名 古屋、東京)	4名		300名 800冊	
	「メルセデス・ベンツ アート・スコー プ」(主催: メルセデス・ベンツ日本株 式会社) - カタログ、映像制作	2021年9 月-2022 年3月	東京都渋谷区 他	2名		50名	
	新生銀行グループ - 社員ワークショップ3回 - 子どもワークショップ企画実施	2021年 10月 -2022年 3月	オンライン	3名			
	三菱商事アート・ゲート・プログラム - プログラム企画及び運営業務 - ウェブサイト構築 - メンタリング、レクチャー企画	2021年5 月-2022 年4月	東京都渋谷区 オンライン、都 内各所	5名		29名 (組)	
	三井不動産レジデンシャル 新築マ ンション - アート選定・設置 - コミッション作品撮影補助	2021年5 月-8月	東京都品川区	2名		80名	
	アートウィーク東京2021 - トークイベントの企画実施、コ ンテンツ制作	2021年8 月-11月	オンライン	3名		再生数 4400回 数	
	マンモス・ブレ・キッズクラブ「アートの カウト」 - 子ども向け鑑賞+対話ワーク ショップ	2021年9 月	オンライン	3名		20名	

⑤現代美術に関する公開講座の実施	現代美術の教育プログラムTotal Art Studies (TAS)プレミア 講座 - 講座の企画、配信 - トークイベント企画	2021年5月-2022年4月	オンライン	6名	広く一般、および児童福祉施設児童、外国ルーツの児童	100名	34,000
	子どもと芸術家を繋ぐ「dear Me」 - 科学と生活の講座 1回 - 絵本ワークショップ2回 - 音のワークショップ1回 - 展示1回	2021年5月-2022年4月	オンライン、キッズリビンググローバル(東京都足立区)、二葉むさしが丘学園(小平市)	3名		60名	
⑥現代美術に関する機関誌発行インターネット上でのHPリニューアル、情報提供	イベントや人材募集等の情報を配信(5回/年) ウェブサイト更新 - 記事、映像発信	2021年5月-2022年4月	オンライン	7名	広く一般	6,900名	0
⑦美術と医療福祉に関する調査研究、アーカイブ化推進、情報提供	メンタルヘルスとアートのリサーチ、ヒアリング、評価指標の構築	2021年8月-2022年3月	オンライン	2名	広く一般		0
⑧現代美術関連のイベントにおけるボランティア活動の情報提供、支援	コロナのため実施なし	—	—	—	—	—	—

(2)その他の事業

(事業費の総費用【 101 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
①一部宿舍、スペースの賃貸業務	コロナのため実施なし	—	—	—	—
②飲食提供業、物品販売業	プロダクト委託販売(アーティストのテキスタイル、ポストカード)	2021年9月-10月	ユトレヒト(渋谷区)	1名	101
③美術品の売買	実施なし	—	—	—	—

事業報告用

3年度 活動計算書（その他事業がある場合）

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティブ・トウキョウ

（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業		その他事業		合計
	金 額	小計・合計	金 額	小計・合計	
【A】 経 常 収 益					
1 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	40,000	40,000		0	40,000
2 受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益		0		0	0
3 受取助成金等 受取助成金	251,350	251,350		0	251,350
4 事業収益 アーツ・イニシアティブ東京滞在宿舍の提供及び生活支援等に係る事業収益 国内アーツ・イニシアティブの海外施設への入所支援事業収益 現在美術の展覧会、ワークショップの実施およびその支援事業収益 現代美術に関する公開講座の実施事業収益 収益事業②飲食提供業、物品販売業	37,762 2,200,000 28,228,150 43,361,896	73,827,798		103,070	73,930,868
5 その他の収益 受取利息 為替差益	416 174,360	174,776	103,070	0	174,776
経 常 収 益 計		74,293,924		103,070	74,396,994
【B】 経 常 費 用					
1 事業費					
(1) 人件費 給料手当 役員報酬 法定福利費 福利厚生費	14,143,606 9,610,704 3,433,818 291,794	27,479,922		0	27,479,922
(2) その他経費 売上原価 外注費 印刷製本費 製作費 会費費 広告宣伝費 旅費交通費 接待交際費 イベント費用 通信費 消耗品費 運搬費 水道光熱費 地代家賃 賃借料 減価償却費 諸会費 租税公課 資料費 支払手数料 雑費	24,076,805 43,279 355,281 94,500 196,280 2,533,812 333,385 124,178 1,142,296 872,963 122,773 149,580 3,036,000 1,165,204 450,109 10,625 3,664,234 107,171 300,832 941,000	39,720,307	98,610	101,506	39,821,813
事業費計		67,200,229		101,506	67,301,735
2 管理費					
(1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費		0		0	0
(2) その他経費 消耗品費 水道光熱費 通信運搬費 地代家賃 旅費交通費 減価償却費		0		0	0
管理費計		0		0	0
経 常 費 用 計		67,200,229		101,506	67,301,735
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①		7,093,695		1,564	7,095,259
【C】 経 常 外 収 益					
固定資産売却益 過年度損益修正益					
経 常 外 収 益 計		0		0	0
【D】 経 常 外 費 用					
固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損					
経 常 外 費 用 計		0		0	0
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②		0		0	0
経 理 区 分 振 替 額 ・・・③					
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①+②+③・・・④		7,093,695		1,564	7,095,259
法人税、住民税及び事業税 ・・・⑤					2,845,000
前期繰越正味財産額 ・・・⑥					6,095,994
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ④-⑤+⑥					10,346,253

3 年度 貸借対照表

特定非営利活動法人アーツ・インシアティヴ・トウキョウ

(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部			
1	流動資産		
	現金預金	18,393,079	
	売掛金	24,200	
	棚卸資産	734,804	
	仮払金	401,932	
	流動資産合計・・・①	19,554,015	
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		
	什器備品	393,645	
	減価償却累計額	393,644	
	(2) 無形固定資産		
	(3) 投資その他の資産		
	敷金	460,000	
	長期貸付金		
	固定資産合計・・・②	460,001	
【A】 資 産 合 計 ①+②		20,014,016	
【B-1】 負 債 の 部			
1	流動負債		
	未払金	877,668	
	預り金	1,587,895	
	前受金	2,310,000	
	未払法人税等	2,845,000	
	未払消費税	2,047,200	
	流動負債合計・・・③	9,667,763	
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		
負 債 合 計 ③+④		9,667,763	
【B-2】 正 味 財 産 の 部			
	前期繰越正味財産額	6,095,994	
	当期正味財産増減額	4,250,259	
正 味 財 産 合 計		10,346,253	
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		20,014,016	

3年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人アーツ・イン・シティ・トキョ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は定率法

(3) 消費税等の会計処理

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	アーツの東京滞在 支援活動事業	国内アーツの海外施設 への入所 事業	現代美術の展覧会アーツ プロジェクトの実施 事業	現代美術の公開講座 の 事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費				40,000	40,000		40,000
2. 受取寄附金							
3. 受取助成金等				251,350	251,350		251,350
4. 事業収益	37,762	2,200,000	28,228,150	43,464,956	73,930,868		73,930,868
5. その他収益		5	87,421	87,350	174,776		174,776
経常収益計	37,762	2,200,005	28,315,571	43,843,656	74,396,994		74,396,994
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当		275,747	6,394,418	7,473,441	14,143,606		14,143,606
役員報酬			2,883,211	6,727,493	9,610,704		9,610,704
法定福利費		39,687	1,152,214	2,241,917	3,433,818		3,433,818
福利厚生費		2,845	99,888	189,061	291,794		291,794
人件費計		318,279	10,529,731	16,631,912	27,479,922		27,479,922
(2) その他経費							
期首商品棚卸				833,444	833,444		833,444
期末商品棚卸				734,804	734,804		734,804
売上原価				98,640	98,640		98,640
外注費	33,137	600,000	14,488,066	8,955,602	24,076,805		24,076,805
印刷製本費			43,279		43,279		43,279
製作費			301,477	53,804	355,281		355,281
会議費			50,131	44,369	94,500		94,500
広告宣伝費			89,655	106,625	196,280		196,280
旅費交通費			1,479,259	1,054,553	2,533,812		2,533,812
接待交際費			166,809	166,576	333,385		333,385
イベント費用			103,797	20,381	124,178		124,178
通信費	1,929	23,214	296,783	820,370	1,142,296		1,142,296
消耗品費	131	82,888	280,877	509,067	872,963		872,963
運搬費		8,831	83,562	30,380	122,773		122,773
水道光熱費		38,890	52,355	58,335	149,580		149,580
地代家賃		789,360	1,062,600	1,184,040	3,036,000		3,036,000
賃借料		3,569	1,119,940	41,695	1,165,204		1,165,204
減価償却費			450,109		450,109		450,109
諸会費			1,375	9,250	10,625		10,625
租税公課	1,024	61,007	782,235	2,822,834	3,667,100		3,667,100
資料費			29,009	78,162	107,171		107,171
支払手数料	2,600	880	88,826	208,526	300,832		300,832
雑費		243,100	327,250	370,650	941,000		941,000
					0		0
その他経費計	38,821	1,851,739	21,297,394	17,368,663	39,821,813		39,821,813
経常費用計	38,821	2,170,018	31,827,125	34,000,575	67,301,735		67,301,735
当期経常増減額	-1,059	29,987	-3,511,554	9,843,081	7,095,259		7,095,259

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は4,250,259円ですが、そのうち251,350円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
株資生堂		251,350		251,350	
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	393,645	450,109	450,109	393,645	393,644	1
無形固定資産						
投資その他の資産 敷金	460,000					460,000
合計	853,645	450,109	450,109	393,645	393,644	460,001

6. 借入金を増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に 計上された 金額	内、役員と の取引	内、近親者 及び支配法 人との取引
(活動計算書)			
活動計算書計			
(貸借対照表) 未払金	210,442	210,442	
貸借対照表計	210,442	210,442	

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法
- その他の事業に係る資産の状況

3 年度 財産目録

特定非営利活動法人ア・ツ・イ・ニ・シ・ア・イ・ウ・トウキョウ

(単位：円)

科	目	金 額	小 計	合 計
【A】 資 産 の 部				
1	流動資産			
	現金預金		18,393,079	19,554,015
	手元現金	614,873		
	みずほ銀行 普通預金	1,691,890		
	みずほ銀行 普通預金	1,850,038		
	三井住友銀行 普通預金	103,162		
	三菱UFJ銀行 普通預金	12,232,566		
	みずほ銀行 外貨預金（ドル）	812,012		
	みずほ銀行 外貨預金（ユーロ）	1,088,538		
	売掛金		24,200	
	現代美術に関する公開講座の実施事業売掛金	24,200		
	棚卸資産		1,136,736	
	販売用及び寄附物品	734,804		
	仮払金	401,932		
	流動資産合計・・・①			19,554,015
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産		1	1
	什器備品			
	パソコン	393,645		
	減価償却累計額	393,644		
	(2) 無形固定資産			
	(3) 投資その他の資産			460,000
	敷金		460,000	
	朝倉不動産	460,000		
	固定資産合計・・・②			460,001
【A】 資 産 合 計 ①+②				20,014,016
【B-1】 負 債 の 部				
1	流動負債			
	未払金		877,668	9,667,763
	精算	210,442		
	3.4月分社会保険料	524,446		
	クレジットカード	142,780		
	前受金		2,310,000	
	ハッカースファンデーション	2,310,000		
	預り金		1,587,895	

源泉徴収税	1,034,128		
社会保険料	553,767		
未払法人税等		2,845,000	
未払法人税	1,758,100		
未払法人地方税	181,000		
未払法人都民税	193,000		
未払法人住民税	712,900		
未払消費税		2,047,200	
	2,047,200		
流動負債合計・・・③			9,667,763
2 固定負債			
長期借入金			
退職給付引当金			
固定負債合計・・・④			
【B-1】負債合計 ③+④			9,667,763
【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】			10,346,253

令和3年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ✓以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ✓各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに ○	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	理事	シオミユウコ		令和3年5月1日	年 月 日
		塩見 有子		～ 令和4年4月30日	～ 年 月 日
2	理事	スミトモフミヒコ		令和3年5月1日	年 月 日
		住友 文彦		～ 令和4年4月30日	～ 年 月 日
3	理事	キリカワヨウコ		令和3年5月1日	年 月 日
		桐川 洋子 (宮原)		～ 令和4年4月30日	～ 年 月 日
4	理事	ホリウチナオコ		令和3年5月1日	年 月 日
		堀内 奈穂子		～ 令和4年4月30日	～ 年 月 日
5	理事	ニシヤマユウコ		令和3年5月1日	年 月 日
		西山 裕子		～ 令和4年4月30日	～ 年 月 日
6	理事	ナンジョウフミオ		令和3年5月1日	年 月 日
		南條 史生		～ 令和4年4月30日	～ 年 月 日
7	監事	ナカモリヤスフミ		令和3年5月1日	年 月 日
		中森 康文		～ 令和4年4月30日	～ 年 月 日
8	理事・監事			年 月 日	年 月 日
		以上		～ 年 月 日	～ 年 月 日
9	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				～ 年 月 日	～ 年 月 日
10	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				～ 年 月 日	～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ

	氏名	
1	塩見 有子	
2	ロジャー・ クリストファー・ マクドナルド	
3	住友 文彦	
4	宮原（桐川） 洋子	
5	西山 裕子	
6	南條 史生	
7	中森 康文	
8	堀内 奈穂子	
9	金子 修	
10	肥田 暁子	
11	以上	
12		